

# 平成29年12月第4回幸田町議会定例会 報告 <sup>1/2</sup>

## 議会報告 12月定例会報告

平成29年12月定例会は、12月1日に開会し、25日までの25日間の会期で開催され、人権擁護委員の人事案件1件をはじめ単行議案11件、補正予算関係3件が上程され、いずれも原案通り可決承認され、そのほか「介護・福祉・医療など社会保障の施策充実について」の陳情1件を審議し、不採択とした。

### 主な議案

#### ■非常勤特別職である区長、嘱託医、監査委員などの報酬見直し

【概要】区長等の報酬等に関する条例の一部改正

【理由】諸般の情勢と近隣市町との均衡を図るため



#### 区長さんの報酬格差を是正する！

◎基本割の26万円(プラス世帯割)を60万円(プラス世帯割)とし、区の世帯数の差が、そのまま報酬の差とならないように是正

(区長の業務量に大差 無い)

**最大9倍あった 格差を**  
↓  
**約4倍まで縮小 見直し**

#### ■障害者地域活動支援センターの運営管理を指定管理者に代行

【指定管理者名】社会福祉法人 愛恵協会(岡崎市舞木町)

【時期】平成30年4月1日～平成35年3月31日(5年間)

【管理経費】8500万円/5年間

◎民間委託のメリット

→障害者福祉に特化した運営者によるサービス提供が期待でき、国や県の補助を受けられる。

#### 地域活動支援センターとは

- ・つどいの家(障害者ディサービス)
- ・つどい作業所(福祉的就労の場)
- ・障害者福祉関連団体の活動の場

#### ■多世代交流館施設の設置、管理に関する条例の制定 平成30年4月1日オープン

##### 12月定例会での質問事項

##### ・福祉産業建設委員会にて

新年度オープンする多世代交流館の名称が「豊坂ほっと館」となり児童館機能を持った施設として、多世代の交流、子育てなど、地域の中心的施設となることを期待する。



木造2階建  
(550.05㎡)

多世代交流館完成予想パース図

Q:来館者の人数や年齢層などの予測と駐車数はよいか?

A:来館予測の人数はわからないが、多世代の方の利用を想定、駐車違反の無いようにする。

Q:交流館をはじめパソコン、コピー機の設置の計画は?

A:新規施設には、設置するが、従来の3施設にも要望があれば設置したい。

Q:児童館の毎月のイベントの案内が見られるように町のHPに連動し載せたらどうか?

A:すぐにチラシのHPへアップをすすめたい。 など。

## 幸田町のトピックス

### 長崎県島原市と姉妹都市提携を締結



幸田町初となる「姉妹都市提携」を長崎県島原市と締結しました。調印式は、幸田町民会館と島原市の両会場で同時刻に開催されました。本町と島原市との繋がり、深溝松平家六代当主忠房公が、混乱した藩政を復興するため島原に赴任、その後13人の当主が藩主として治めた380年前までさかのぼります。

**今後、民間レベルでの交流も期待**

### 国内初 町内公道で無人運転の実験



国内初の公道での無人運転の実証実験を12月14日に幸田町で行いました。レベル4の実験とは、運転席にドライバーがいない状態で、運行の全てをシステムが行います。町民会館の周辺約700メートルを時速15km程度で、事前に作成された高精度3Dマップを使い、交差点や歩行者などを感知しながら安全運行をするものです。

**福祉施策や他産業などに活用を**

## 活動報告

### ☆幸田町長に「要請書」提出 11月27日

愛知労福協 岡崎・額田支部は「自主福祉運動」を通じて、労働者とその家族、地域住民の生活向上と安定をはかり「安心・共生の福祉社会の実現」をめざして活動しています。11月27日 大須賀幸田町長に対し、清水支部長、役員と私の9人で「要請書」を提出、活動の理解と支援要請しました。



大須賀町長へ「要請書」提出

### ☆労働相談ダイヤル 駅頭活動 12月14日



連合愛知三河中地域協議会の早朝の駅頭活動を役員と関係議員とでJR岡崎駅にて実施しました。連合愛知労働相談センターは常設機関で、専従のスタッフが解雇や賃金未払いなどのトラブル相談に対応しています。例年2月・6月・12月には、連合本部と連携して「労働相談ダイヤルキャンペーン」を実施しています。  
フリーダイヤル 0120-154-052



### ☆交通安全活動に参加、年末年始を安全に！

幸田町では、11月28日午後8:40分ごろ国道248号線の信号機のある交差点横断歩道で71歳の女性が乗用車にはねられ死亡する事故が発生！



「交通安全」を呼びかけ

年末年始は、特有の慌ただしさから、交通事故が増加傾向となり、飲酒の機会も増え、重大事故が心配されます。歩行者の方は、夜間外出時に反射材等を活用し、自分の存在を早く気づいてもらうよう自己防衛をして安全確保をしましょう。